

高知県立高知若草養護学校では、学校経営の柱に「スポーツの振興」を掲げ、特にリオパラリンピックで注目されたポッチャに力を入れています。

昨年8月に県ポッチャ協会が発足したこともあり、競技の普及や競技力の向上を協会と連携して取り組んでいます。今年2月には、公認審判員養成講習会を本校で開催していただき、多くの教職員が理念やルールを学びながら、審判員資格を取得しました。

また、近隣の中学校や高校との交流においても必ずポッチャを取り入れるなど、普及と啓発に努めています。今年11月には県ジュニアポッチャ大会が本校で開催されることにな



今年6月に本校体育館で行った中学部と中学校との交流及び共同学習

スポーツの振興を学校経営の柱に

り、生徒たちは全国、そして世界へと夢を膨らませながら腕を磨いています。

「スポーツの振興」二つ目の取り組みは、各種スポーツ大会への積極的な参加です。今年1月に開催した本県出身のリオパラ銅メダリスト池透暢選手を招いてのスポーツ体験交流をきっかけに、学校全体に競技スポーツへの関心が広がりました。この企画を後押ししていただいた県立障害者スポーツセンターとの関係も深まり、障害者スポーツに関する出前授業や運動クラブ（部活動）の指導技術支援といった取り組みに発展しています。そして、これまで参加が少なかった県障害者スポーツ大会に4種目8人がエントリーし、好成績を挙げた3人が全国大会に選出されました。

競技スポーツにおいて自らの可能性を追求したり、生涯にわたってスポーツに親しんだりすることは、人生を豊かにするとともに、共生社会の実現につながるものです。本校では今後もスポーツの振興を積極的に推進したいと考えます。

（川村泰夫・高知県立高知若草養護学校校長）